

コスモゼロ52型

(宇宙戦艦ヤマト2199)

バンダイ ノンスケールプラスチック
キット

製作・文:政府開発援助

1. コスモゼロについて

コスモゼロ(正式名称:零式52型空間艦上戦闘機)は国連宇宙海軍の全領域制宙戦闘機で、大気圏内での運用も可能である。航宙艦への搭載を考慮して機首・主翼・垂直尾翼が折り畳めるようになっているのが特徴である。複座型であるが、通常は一人で運用される。宇宙戦艦ヤマトには機体色の異なる2機が搭載されており、 $\alpha 1$ (古代機)・ $\alpha 2$ (山本機)と呼称されている。

固定武装として、機首部分に機銃4丁及び機関砲1門を装備している。また、高機動ユニットや空対地ミサイル、空対艦ミサイル等を主翼に懸架することが可能である(ミサイル懸架時は高機動ユニットを機体上面に装備することもできる)。

2. キットについて

宇宙戦艦ヤマト2199メカコレクションの9番目にキット化されたものです。機首の色違いの部分と残りの部分の二色成型となっており、飛行状態と着陸状態のどちらにも組むことが可能です。格納状態にすることはできませんが、下側の垂直尾翼は着陸時の畳んだものも付属します。本体についてはシリーズ共通のスナップキットですが、武装(高機動ユニット・空対地ミサイル・空対艦ミサイル)は選択して接着する旨指示されています。 $\alpha 1$ と $\alpha 2$ を再現するマーキングシールが付属します。縮尺表示はありません(当方計算では約1/160)。

3. 製作と塗装について

今回は「星巡る方舟」での活躍が印象に残る $\alpha 2$ (山本機)を飛行状態で組んでいます。キットの出来が良いのでプロポーション等はいじらず、メインゾルの縁を薄々攻撃したり使用しないパイロンを切り詰めたりした程度です。機体上面のバルジのみ、高機動ユニットをマウントできるようにくり抜きました(最近発売された「ブラックバードセット」に同機能の部品が同梱されていることを後から知りました)。

塗装は本体にクレオスのライトグレーFS36495、機首はクレオスのサファリオレンジ、識別帯はタミヤアクリルの白をいずれも筆塗りし、キャノピーは銀色の上からエナメルクリアグリーンとクリアブルーの混合色を重ねています。防眩塗装その他細部をエナメル系カラーで塗り分け、タミヤのスミ入れカラーでスミ入れしました。マーキングには1/72キットのデカールを撮影したものを元にMDプリンタで自作したデカールを使用し、最後に半光沢クリアを吹いてツヤを整えています。



前面



後面

4. 製作過程



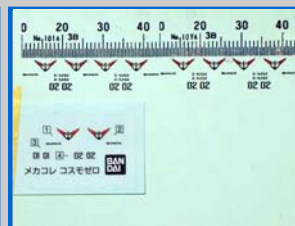
高機動ユニットを取り付ける為、機体上面のバルジに沿ってドリルで開口し整形。



高機動ユニットのパイロンとの接続部分を薄く削り、機体上面に付けられるよう調整。



使用しないパイロンを切除し、メインノズルの縁に薄々攻撃。



付属のシールは使用せず、MDプリンタでデカールを自作。